





対象学年	3年	教科	国語	難易度	★☆☆☆
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	国語じてんで調べてみよう				
課題の説明	<p>下の①～③の言葉を国語じてんで調べましょう。</p> <p>①あおむし ②かえる ③ライオン</p>				
解決のヒント	<p>国語じてんは、言葉の意味、言葉の使い方、漢字での書きあらわし方などを知りたいときに使います。</p> <p>見出し語は、「あ・い・う・え・お…」の五十音順にならんでいます。</p> <p>だから、①の「あおむし」は、「あ」のところ、②の「かえる」は「か」のところ、③の「ライオン」は「ら」のところをさがしてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>この「つめ」を見ると、「あ・か・さ・た・な…」と書いてあります。五十音順が分かりやすいですね。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>「見出し語（みだしご）」とは、国語じてんに意味がのっている言葉のことです。</p> </div>				
参考資料	<p>光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37</p> <p>国語じてん</p> <p>国語辞典の使い方（光村図書） <a href="https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html">https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html</a></p>				

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★☆☆																																																								
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方																																																												
課題	国語じてんでもっと調べてみよう1																																																												
課題の説明	<p>国語じてんを使って、どちらの見出し語が先に出ているか調べましょう。</p> <p>①いし、いた ②けいたい、けいさつ ③パス、バス ④プール、プリン</p>																																																												
解決のヒント	<p><b>【ヒント1】</b> 見出し語は五十音順（あいうえおの順）にならんでいます。 たとえば、一字目をくらべて、同じだった場合、二字目をくらべます。二字目と同じだったら、三字目をくらべます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="font-size: 2em; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ふ</td><td>ふ</td><td>ふ</td><td>は</td></tr> <tr><td>と</td><td>と</td><td>か</td><td>や</td></tr> <tr><td>る</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 200px;"> <p>一字目も二字目も三字目も五十音順にならんでいますね。</p> </div> </div> <p><b>【ヒント2】</b> せい音（は・ひ・ふ・へ・ほのような音）の後に、だく音（ば・び・ぶ・べ・ぼのような音）、だく音の後に、半だく音（ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽのような音）の順にならんでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="font-size: 2em; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ポ</td><td>ボ</td><td>ホ</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td></tr> <tr><td>ル</td><td>ル</td><td>ル</td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 200px;"> <p>これも、ホーボーポと、せい音→だく音→半だく音の順にならんでいますね。</p> </div> </div> <p><b>【ヒント3】</b> 「ー」であらわすような、のぼす音がある語は、「あ・い・う・え・お」におきかえて、なっています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <table style="font-size: 1.5em; border-collapse: collapse;"> <tr><td>ゴ</td><td>ゲ</td><td>プ</td><td>チ</td><td>カ</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td></tr> <tr><td>ル</td><td>ム</td><td>ル</td><td>ズ</td><td>ド</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>ご</td><td>げ</td><td>ぷ</td><td>ち</td><td>か</td></tr> <tr><td>お</td><td>え</td><td>う</td><td>い</td><td>あ</td></tr> <tr><td>る</td><td>む</td><td>る</td><td>ず</td><td>ど</td></tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 60%; text-align: center;"> <p>国語じてんには、見出し語を見つけやすくするために、ルールがいくつかあります。これを知っておくと、すぐに見つけられますよ。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>					ふ	ふ	ふ	は	と	と	か	や	る	い	い	い	ポ	ボ	ホ	ー	ー	ー	ル	ル	ル	ゴ	ゲ	プ	チ	カ	ー	ー	ー	ー	ー	ル	ム	ル	ズ	ド	↓	↓	↓	↓	↓	ご	げ	ぷ	ち	か	お	え	う	い	あ	る	む	る	ず	ど
ふ	ふ	ふ	は																																																										
と	と	か	や																																																										
る	い	い	い																																																										
ポ	ボ	ホ																																																											
ー	ー	ー																																																											
ル	ル	ル																																																											
ゴ	ゲ	プ	チ	カ																																																									
ー	ー	ー	ー	ー																																																									
ル	ム	ル	ズ	ド																																																									
↓	↓	↓	↓	↓																																																									
ご	げ	ぷ	ち	か																																																									
お	え	う	い	あ																																																									
る	む	る	ず	ど																																																									
参考資料	<p>光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37 国語じてん 国語辞典の使い方（光村図書） <a href="https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html">https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html</a></p>																																																												

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	国語じてんでもっと調べてみよう2				
課題の説明	<p>国語じてんを使って、どちらの見出し語が先に出ているか調べましょう。</p> <p>①理由（りゆう）、りゆう  ②石屋（いしや）、医者（いしや）  ③五日（いつか）、一家（いっか）  ④クラス、くらす  ⑤バレエ、バレエ</p>				
解決のヒント	<p>【ヒント1】  そく音（小さく書く「つ」）、よう音（小さく書く「ゃ」「ょ」「ゅ」）は、ふつうの「つ」「や」「ゆ」「よ」の後にはなりません。</p> <p>【ヒント2】  同じ音の見出し語は、ひらがな→カタカナの順でなりません。</p> <p>【ヒント3】  「一」であらわす音のある見出し語は、「一」であらわさない音の見出し語の後にはなりません。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p>国語じてんによっては、このようなルールがちがう場合があります。自分が使っている国語じてんのルールを知っておきましょう。</p> </div>				
参考資料	<p>光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37</p> <p>国語じてん</p> <p>国語辞典の使い方（光村図書） <a href="https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html">https://m-manabi.jp/20/kokugo3_jou/u2/p1/index.html</a></p>				

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	言い切りの形になおしてみよう。				
課題の説明	<p>線が引いてある言葉を国語じてんで調べると、「とこう」は『渡航』船や飛行機で外国に行くこと。(旺文社標準国語辞典)」と書いてありました。この文では意味がちがう気がします。では、なんという言葉で調べたら良いでしょうか。</p> <p>算数の問題を<u>とこう</u>としたが、むずかしい。</p>				
解決のヒント	<p>言葉は、文の中でいろいろに形をかえることがあります。国語じてんでは、見出し語(調べる言葉)が、言い切りの形になっています。</p> <p>(れい)</p> <p>りんごを<u>食べた</u>。→食べる  家に帰るのが<u>おそくな</u>った。→おそい  マジックで<u>書けば</u>よい。→書く  そんなこと<u>知らない</u>よ。→知る  海は<u>ふか</u>かった。→ふかい</p>				
参考資料	光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37 国語じてん				

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	国語じてんでもっと調べてみよう3				
課題の説明	<p>線が引いてある言葉を国語じてんで調べると、いくつか意味が書いてあります。どの意味が当てはまるか考えてみましょう。</p> <p>①算数の問題を<u>とこう</u>としたが、むずかしい。  ②元気を<u>出して</u>、もう一ど走る。  ③朝食を<u>取らない</u>で学校へ行く。</p>				
解決のヒント	<p><b>【ヒント1】</b></p> <p>言葉は、文の中でいろいろに形をかえることがあります。国語じてんでは、見出し語が、言い切りの形になっています。①の場合は、「とこう」ではなく、「とく」といったように、言いきりの形に直してから調べましょう。</p> <p>(れい)</p> <p>りんごを<u>食べた</u>。→食べる  家に帰るのが<u>おそくな</u>った。→おそい  マジックで<u>書けば</u>よい。→書く  そんなこと<u>知らない</u>よ。→知る  海は<u>ふか</u>かった。→ふかい</p> <p><b>【ヒント2】</b></p> <p>言葉には、いろいろな意味をもつものもあります。国語じてんに意味がいくつか書いてある場合は、言葉が書かれている文に合った意味をえらびます。</p>				
参考資料	光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37 国語じてん				

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★★★☆
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	作文の見直しをしよう				
課題の説明	<p>作文の見直しをします。線がひいてある漢字は、使い方がまちがっています。国語じてんを使ってたしかめ、正しい漢字に直しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>きのう、お母さんと          買い物に行きました。          た。くつやさんで、          足に会うくつをさが          しました。          買った物から返ると          中で、友だちに合          いました。声をかける          と、元気なへんじが          帰ってきました。</p> </div>				
解決のヒント	<p>国語じてんでは、見出し語が、言い切りの形になっています。言いきりの形に直してから調べましょう。言葉には、いろいろな意味をもつものもあります。国語じてんに意味がいくつか書いてある場合は、言葉が書かれている文に合った意味をえらびます。</p> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>みなさんが作文を書くときにも、国語じてんを使いましょう。          言葉や漢字をわすれてしまったときに調べたり、言葉や漢字の使い方が、まちがえていないかたしかめたりするといいですね。</p> </div> 				
参考資料	光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37 国語じてん				

対象学年	3年	教科	国語	難易度	★★★★
単元	国語辞典を使おう 国語じてんの使い方				
課題	国語じてんクイズをつくろう。				
課題の説明	<p>① 国語じてんをよういします。</p> <p>② 国語じてんをひらいて一つの言葉をえらびます。れい：「ぞう」</p> <p>③ ②の言葉のいみを、メモに書きます。 れい：りくじょうではもっともからだのおおきいほにゆう動物。インド・アフリカにすみ、はなが長く、二本の長いきばをもつ。(旺文社標準国語辞典)</p> <p>④ お家の人にためしに、クイズをだしてみよう。お家の人にきいてもらって、むずかしさを3だんかいにわけておこう。</p> <p>⑤ 学校に行ったら、みんなにクイズをだしてみよう。</p>				
解決のヒント	<p>自分の知っている言葉をさがそう。</p> <p>自分の知っている言葉のいみが、クイズで出された人にわかるかどうかを考えよう。</p>				
参考資料	<p>光村図書 P32～34 、東京書籍 P34～37</p> <p>国語じてん</p>				